



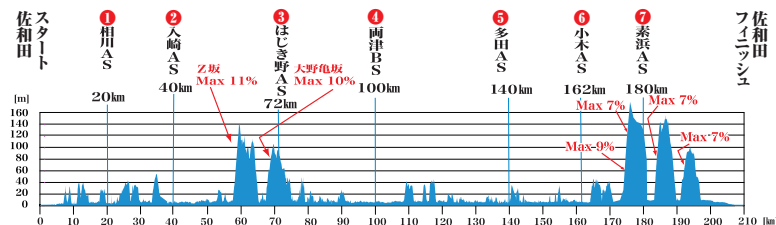
●佐渡北端に位置する大野亀。スタートから約70km地点に位置する上り坂。巨大な岩が海からそそり立つ

Sado Long Ride 210

Aコース210km、Bコース130km、Cコース100km、Dコース40kmの4コースの行程だ!



Aコース：峠はないが標高差90～150mの上り4カ所



ペントの雰囲気とこの後の晴天の予感。僕は僕の気持ちをさらに高ぶらせた。取材の名目でこの大会に臨む僕は主催者の計らいで最前列発進。隣を見れば山本雅道、益子直美夫妻の姿も見え、初めての佐渡どころか人生初の最前列発進は最高の気分だった。

スタートを切るといきなり健脚たちによる先頭集団が形成され、その列車に何とか乗車した。テンションが上がりすぎてかなり脚を使ってしまった……。スタートして40kmも走っていないのに両ふくらはぎはピクピクと「そろそろヤ

バイですよ」のサイン……。本誌ではロングライドの特集などで幾度となく「ペース配分が大事ですよ」と言ってきたのに、このままりタイアでは面目が立たない……。

今年のエイド
ステージンは二味違う

そう思っている頃、ロングライドイベントのオアシス、エイドステージン(以下、AS)が現れる。2番目の入崎ASだ。自転車を置いてテントのほうを見ると、そこには何とおいしそうなスイー



●170km地点から始まる激坂3連続! ここが210kmコースの正念場だ!!

2016

スポニチ 佐渡ロングライド 210

11回目、新たなスタートを切った

佐渡ロングライドは、毎年開催では日本最大規模の大会。2006年、第1回大会のエントリーは933人。今年の参加者は過去最高の3350人。11回目を迎えて、エイドステージンのメニュー充実や本部の発展ブース増など、新たなスタートを切った。

今年で11回目の開催となった2016スポニチ佐渡ロングライド210。競輪補助事業の一環として開催される本大会は昨今のロングライドブームの火つけ役といっても過言でない。過去には雨にたたられることもあったが、今年は晴天微風に恵まれ、汗ばむほどの陽気で気持ちよく走れた。参加人数は過去最高となる3350人(前年:3244人)を数え、本大会の注目度の高さを示した。本誌はこの大会が始まってから毎年参加し、その様子を伝えてき

た。今年には編集部イチの若手、石川竜慈が210kmに参加。実走して今年の大会の様子や自らが感じたことをお伝えする。

思いがけない 佐渡ロングライド初挑戦!

4月某日、「石川君、今年には佐渡よろしく」と編集長の江GO!から言われた僕は、サイスポの読者の頃から何度か記事を見ては「行ってみたいなあ」と思いをはせていた佐渡ロングライドに、念願の出場が決まった。

なぜそんなにも佐渡に思い入れがあったのかと言うと、地元に行きつけのサイクルショップに入り浸っていた頃にチームの人たちが毎年この季節になると佐渡に行く人がたくさんいたからだ。「自分も行きたいな」と思っていたが、学生だった僕には経済的な余裕がなく、歯がゆい思いをしていた。こんな形で佐渡ロングライドに参加できるなんて! 編集長の指令を受けてすぐ、「何としても210kmを楽しみきってやる!」と誓った。

初佐渡でいきなりの最前列発進

開催日●5月14日(土)前夜祭~5月15日(日)
 開催場所●新潟県佐渡市
 主催者●佐渡市/佐渡市スポーツ協会/スポーツニッポン新聞社/佐渡汽船
 主管●佐渡ロングライド実行委員会
 特別協力●JKA
 text●本誌・石川竜慈 photo●山内潤也/本誌・石川竜慈



●スタートはA、B、C、Dと距離が長いコース順に出発。さらにAコースはA1、A2、A3の平均速度順に分けてスタートする



スコットカップ2016を制覇しよう!

佐渡を舞台とした長距離イベント、「佐渡ロングライド210」、「佐渡国際トライアスロン大会」、「佐渡オープンウォータースイミング」、「佐渡トキマロン」の4大会で全て完走した人はこの称号を手に入れられるのだ!

Sado Long Ride 210



今年も210km完走
益子直美夫妻が
山本雅道、

昨年2人で210kmに参加したが山本さんが先に行きゴールしてしまったということで、今年は約100km地点から益子さんをサポートして夫婦仲良く走ったとのこと。終盤に夫妻に遭遇。山本さんが献身的に益子さんをアシストする姿が印象的だった。



●ロングライドイベント常連の「和製悪魔おじさん」。激坂区間の頂上で参加者を応援する姿はツールのよう



●用意された食事はどれもできたてで最高にウマイ!



出た! Z坂!



●今年から道幅が広がってテラスのようになった。絶景に癒されながら一息入れよう

●佐渡ロングライド最初の難所はZ坂。標高差130mを一気に上る

前夜祭から参加しないと損!!



●初出展のキャンデールのブースではパンク修理講座も実施されていた

●前夜祭のじゃんけん大会。景品は大量に用意されていて、参加者に豪華景品が当たった



●道中で引いてもらった健闘チーム「ハシエルベ」の尾方欽一さん(右)、佐藤健さん(左)。目標はツール・ド・おきなわ市民レースの完走と宣言



●イベント当日はサポートカーがコース上を巡回。レースさながらの態勢で参加者をサポート



●210kmを3回完走しているという加藤奈穂子さん(中央)。「210kmを走るためには頼れる日焼け止めとおしゃれなネイルが必須!」と言う

●今年もスコットブースが出展。多くの試乗車が用意され、ゲストライダーの小島よしおもスコットブースのバイクで130km完走!

スリムなので結構ジャンプ力があった)迎えてくれたときは思わずガッツポーズが出た。あとは再び真野湾の海岸線に出てフィニッシュまで走りきるのみ。ここまでくると見ず知らずの人とも自然と助け合い、列車が結成されてくる。誰が引いても乗ってもいい。ここまで走ってきた健闘を

無言で称え合うかのように先頭交代が行われていた。こういう感じっていいな! 最終コーナーを過ぎる。絵に描いたような夕焼け空の美しいフィニッシュ。念願の佐渡ロングライドは、やっぱり自分の思い描いていたとおりのすばらしいものだった。またいつか出たいと強く思った。

時間制限も忘れずに
各ASで参加者の取材をしながら走っていると、最前列スタート

他の参加者をどんどん追い抜き、小木ASに到着し、山場を前に一息入れた。正念場前にカメラマンから「ここで走りカットを撮るからお願い!」と言われる。最初の激坂区間をまたいでいって、170km地点に待ち受ける激坂の前に小木ASがある。が、直前に補給を取り過ぎれば、消化にエネルギーを消費してしまうのでここで食べるのが有効と判断。補給食をほおばれるだけはおぼろげに。頂上に到達したのだろうか、「和製悪魔おじさん」が飛び跳ねながら(本物よりはかなり

景色を楽しんでこそ佐渡

入崎ASで少しだけ回復していた脚に「ごめんよ、もう無理じゃないぜ」と謝りつつ快適なスピードで走り続けた。佐渡の絶景を楽しむ余裕も出てきた。目の前に現れたのは、この大会の名所「Z坂」。無理のないペースでここをクリアし頂上に到着すると、眼下には透き通った深い青色の海と、地球が丸く見えるほどのどこまでも続く水平線が広がっていた。そして今年はこの道幅が広がり、展望スペースのようになった。景色をじっくりと堪能できるようになった。記念に自分のiPhoneで水平線をバックに自撮りした。

フィニッシュまで

140km地点の多田ASまでやってきた。170km地点に待ち受ける激坂の前に小木ASがある。が、直前に補給を取り過ぎれば、消化にエネルギーを消費してしまうのでここで食べるのが有効と判断。補給食をほおばれるだけはおぼろげに。頂上に到達したのだろうか、「和製悪魔おじさん」が飛び跳ねながら(本物よりはかなり

小学5年生2人が210kmを完走!



●小学5年生(10歳)の山本美穂さんは佐渡ロングライドには5回目の出場で、昨年は130kmを完走。今年はずいぶん210kmを完走した強者だ

●同じく小学5年生で210kmを完走した河村元くん。「プロの自転車選手になる予定です」とのこと。応援しているぞ!



●ストレッチブースでは地元新潟の専門学校NSGの学生たちによる参加者へのストレッチが行われていた



●プロショップ「ポジティブ」の永井孝樹さん(右から3番目)のバスツアーで参加した小杉さん(右から2番目)はピナレロの最新モデル、ドグマF8のラム・レッド仕様で走った

小島よしおも130km完走



●小島よしおも130kmに参加し鍛え抜いたカラダでしばしば集団をけん引していた。途中苦しそうな表情を見せていたが、本誌カメラマンのかけ声に「おっぱっぴー」を披露してくれた(笑)



事前車検制度導入

東京・錦糸町にある「フォーチュンバイク」にバイクを持ち込んでチェックしてもらった。錦糸店長いわく「しっかりとメンテナンスされているバイクであれば、数分のチェックで終わりますし、工賃も数千円で済ませることが出来ますよ」とのこと。料金は2160円だった。

ブラッシュアップされたASのメニュー



11回目を迎えて新たな要素が加えられた。ひとつはスイーツステーションの開設。マフィンやぜんざいなどが用意され、女性ライダーにもうれしい要素が追加された。もうひとつはライダーの安全のための自転車の事前車検制度だ。自転車店で指定の項目に沿った内容で愛車をチェックしてもらい、チェックをパスした車体でしか参加できないようにすることで、大会中のメンテナンス不良による事故などを減らす仕組みだ。

	参加人数	完走者	完走率
A コース	1911	1801	94.20%
B コース	983	957	97.40%
C コース	325	308	94.80%
D コース	131	131	100%
合計	3350	3197	95.40%

